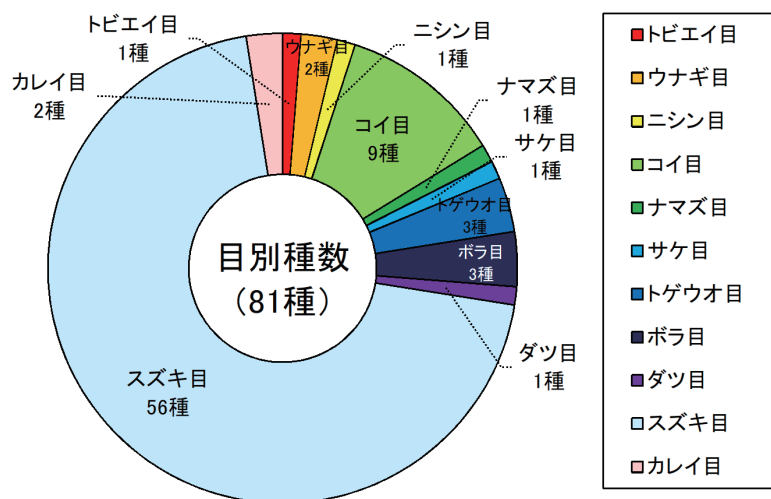


# 魚類

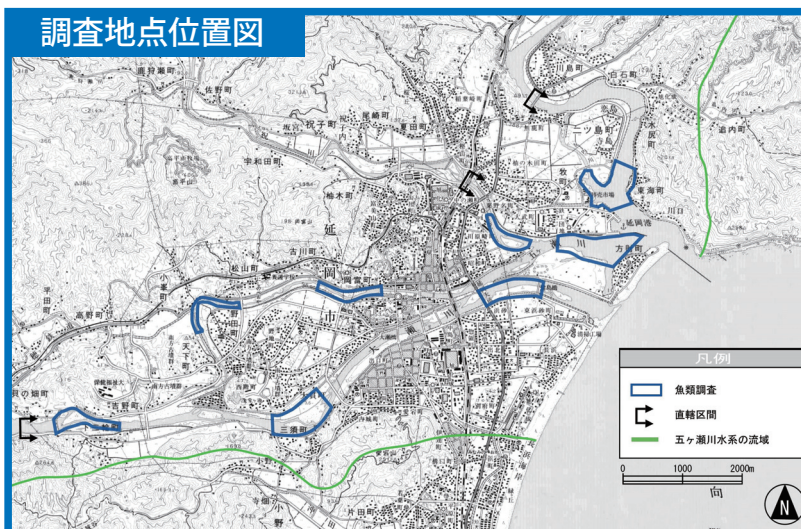
河川水辺の国勢調査では、最新 (R2 年度) 調査：81 種、これまでの 6 回の調査の累計：121 種の魚類が確認されています。このうち重要種 (絶滅が危惧されている貴重な生物) は累計：21 種です。

下流の汽水域 (潮の満ち干きの影響を受ける場所) では、干潟やヨシ原などが広がり、アカメ (マルカ) やトビハゼなどが生息しています。五ヶ瀬川河口域は干潟の生物多様性が高く、日本の重要湿地 500 に、友内川は宮崎県重要生息地にも指定されています。中上流の淡水域では、瀬・淵・ワンド・水際の植物帯など多様な環境がみられ、カマキリ (アユカケ) やニホンウナギ、ミナミメダカなどが生息しています。アユは重要な水産資源であり、秋にはやな場や産卵場が造成されます。

五ヶ瀬川水系は、全国でトップクラスの良好な水質を誇る清流です。また、九州の一級河川 (20 水系の水国調査) において唯一、特定外来生物 (魚類) が確認されていないことも特徴であり、健全な魚類相が維持されています。



R2年度の河川水辺の国勢調査における確認種数の目別割合



## ハビタット (生息環境)



干潟



早瀬

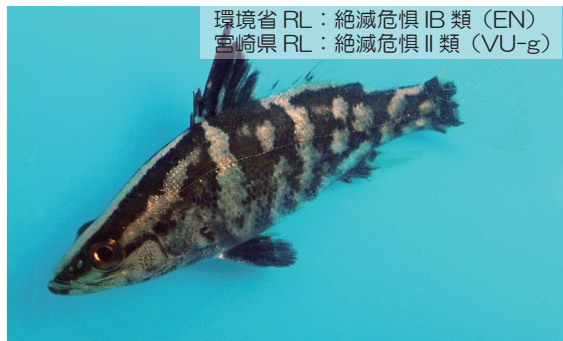


淵



ワンド

## 五ヶ瀬川水系に生息する重要な生物や特徴的な生物



環境省 RL：絶滅危惧 IB 類 (EN)  
宮崎県 RL：絶滅危惧 II 類 (VU-g)

種名：アカメ (スズキ目アカメ科)

河口や内湾の汽水域、河川下流域に生息し、仔稚魚期を河口付近のアマモ場 (コアマモ) で過ごします。



環境省 RL：絶滅危惧 IB 類 (EN)  
宮崎県 RL：絶滅危惧 IB 類 (EN-g)

種名：ニホンウナギ (ウナギ目ウナギ科)

河川の中・下流域や河口域にいるが、ときには川の上流域、沿岸域にも生息しています。日中は石垣や土手の穴、泥底の中に潜み、夜間に活発に摂餌活動をしています。



種名：ボウズハゼ (スズキ目ハゼ科)

主に上流から中流域に生息し、流れの緩いところから速い水域まで幅広く生息しています。



種名：ギンガメアジ (スズキ目アジ科)

河口や内湾の汽水域、河川下流域に生息し、幼魚期は河川の純淡水域にも生息しています。



環境省 RL：—  
宮崎県 RL：準絶滅危惧 (NT-g)

種名：ルリヨシノボリ (スズキ目ハゼ科)

川の中流から上流域にかけて生息し、特に早瀬から淵頭にかけての急流部に多く生息しています。



環境省 RL：準絶滅危惧 (NT)  
宮崎県 RL：絶滅危惧 II 類 (VU-g)

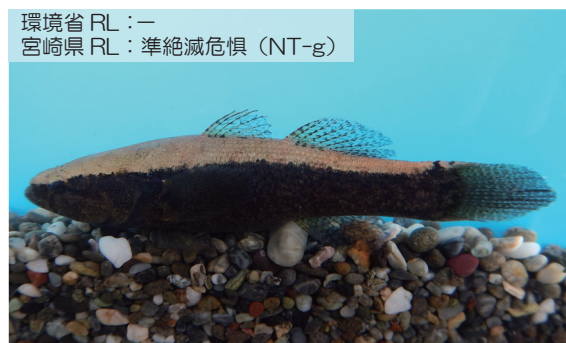
種名：トビハゼ (スズキ目ハゼ科)

泥底の発達した河口域のヨシ原内や干潟に生息しています。



種名：アユ (サケ目アユ科)

主に河川の中流域の大石や岩盤のある瀬に縄張りを形成しています。縄張りは早瀬や淵に多くみられ、屋間は縄張り内で餌となるコケ (付着藻類) をはみまます。



環境省 RL：—  
宮崎県 RL：準絶滅危惧 (NT-g)

種名：カワアナゴ (スズキ目カワアナゴ科)

河川の汽水域から下流域にかけて生息し、泥底より砂底や礫底を好みます。



環境省 RL：絶滅危惧 II 類 (VU)  
宮崎県 RL：準絶滅危惧 (NT-g)

種名：カマキリ (カサゴ目カジカ科)

川の中流域に生息し、産卵時には海に降りて沿岸で産卵を行う降河回遊性魚類です。